

小学校の授業についていけない児童が増えています

小学生が授業についていけない理由はただ一つ 「聴く力が弱いこと」です！！

本当なら幼児期に、集団授業についていけるだけの聴く力を鍛えておく必要があるのですが、それができていないために小学校の授業中に立ち歩いたり、先生が話しているのに他の子にちょっかいを出したりする子が増えているのです。

年長さん以上でこんな兆候があれば要注意

- ・話しかけても目が合わない
- ・人の話を聴いているのかどうかよく分からない
- ・絵本を読み聞かせても話そのものではなく絵に集中している

幼児・小学生の聴く力を鍛えないといけない。

そこで開発されたのが、「聴く力アクティビティ」！！

楽しくなければ子供は参加してくれないから、楽しみながら聴く力を鍛えることにこだわります。

評価が広がっている「聴く力アクティビティ」

- ① 東京都 武蔵村山市立小学校 全校で導入！
- ② 目黒区立小学校 発達障害児の立ち歩き0に！
- ③ 小学館や PHP 研究所の『のびのび子育て』で特集！
- ④ チバテレビで「先進的な教育」として特集！



＜聴く力アクティビティ＞体験者の声＞

- ・体を動かしながら目の前の情報に振り回されず耳で聴くことの大切さを実感できました。(年長男児の母)
- ・楽しみながらも、耳を優先する力を鍛えていただけたのがいい経験になりました。(小2女児の母)
- ・こどもたちの笑顔が印象的です。楽しそうに取り組んでくれてとても満足しました。(小1男児の母)

群馬県から高知県まで幅広く開催されている「聴く力アクティビティ」ですが、開発者のしんやコーチが直接指導するのは「ISG 国府台」のみです。

指導者紹介

田苗真也（しんやコーチ）

渋谷教育学園幕張中学・高校出身 東京大学卒
大学在学中に（株）スタディ・レボリューションを設立。
「聴く力アクティビティ」を開発し、指導者を育てている。

